



# 樹 幼 だ よ り

「明るく 正しく 仲良く のびのびと」



—明照学園（認）樹徳幼稚園—  
令和2年6月26日（第6号）



## 梅雨に映えるアジサイの花

23日（火）、英語塾（スマイルイングリッシュ）の仁平先生が玄関を入るなり、「庭のアジサイがきれいですね！誰が育てているんですか？」と尋ねられました。いただいたものを「運転手さんが育てているんですよ」と伝えると、「素晴らしいですね。」と、、、そのアジサイが雨に洗われて一層美しく輝いています。

梅雨とアジサイはなかよし。アジサイは、6月から7月半ばにかけて咲きます。アジサイの色は、土の成分や開花からの日数、発色に影響する成分がアントシアニンに混じることから、赤・青・紫・ピンクなどに



変わります。雨に濡れて咲く花の様子は、子どもたちにも印象的に映り、作品作りのモデルになってくれます。多くの子どもたちが先生と見学し、美しさに感動しています。

子どもたちは、長靴と傘が大好きです。大人は「今日も雨か？」と、この時期は憂鬱になりますが、子どもたちは長靴をはいて元気いっぱい、本当に楽しそうです。梅雨の間はなかなか外に出られませんが、長靴での遊び等工夫して、この時期ならではの遊びを工夫していきたいと思えます。

## 「歯に関する異常の早期発見」—歯科検診を実施します—



前号でもお知らせしましたが、登園自粛等で実施できなかった歯科検診を、7月2日（木）に実施します。子どもたちの大切な歯を守るために、ア歯科藤田診療所の藤田先生に虫歯がないか、歯がよく磨けているかなどチェックをしてもらいます。朝は必ず歯磨きをして登園をお願いします。

本園では、子どもたちの健康や歯の育成のために、藤田先生の指導を受けて、年中・年長さんがフッ化物洗口を毎朝実施しています。歯は健康のもと、また一生使うのでしっかり磨いて虫歯のない歯をめざしましょう。



## 昼が1番長い日 —夏至(21日)を過ぎて—

21日（日）は夏至で、昼が1番長く夜が1番短い日です。21日から少しずつ太陽の出ている時間が短くなっていきます。北極圏では、夏至の頃は白夜となり、夜になっても太陽が沈まない状態になります。お子さんとそんな国のことも話題にすると楽しいと思えます。

## 夏越(なごし) —6月30日—

6月に入ると、全国あちらこちらの神社で鳥居や拝殿のまえに「茅の輪」が設けられます。茅の輪とは、茅を紙で束ねて輪の形に作ったものです。これをくぐると正月からの半年の間にからだにつもった汚れが落ち、病気や災いから身を守ることができると言われていました。神社を中心に行われるこの「茅の輪」の神事は、旧暦6月晦日からだの不浄を祓うためにおこなっていた「禊（みそぎ）の行事「夏越し」のひとつです。「なごし」は「和し」で穏やかであるという意味ですが、そこから転じて邪悪なものを鎮めると解釈されています。夏越しは、これから夏に向かって病気に対する危険度が高まる時期に、心身や住まいを浄化、刷新するための儀礼として行われ、「茅の輪」はそのための一つの装置と考えられます。〈水き月の 夏越しの祓 する人は ちとせの命 のぶというなり〉

新型コロナウイルス感染症がなかなか治まらない今日、時間がありましたら近くの神社に出かけて、茅の輪くぐりで新型コロナウイルス感染症の終息をお祈りしたいと思っています。

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止で、国から出された「緊急事態宣言」が解除されて1ヶ月が経過しましたが、東京や隣接する3県（神奈川・埼玉・千葉）では、感染症患者が増加している状況です。都道府県をまたがる移動も解除されたことなどをふまえると、まだまだ警戒を緩めるわけにはいきません。幼稚園でも引き続き新しい生活様式に取り組みながら、行事等については子どもの安全を第1に、慎重に検討して取り組んでいきたいと考えています。



7月の行事（七夕祭り、お誕生会、お泊まり会等）については、保護者の参加は控えていただくこととなりますが、子どもたちが楽しく参加し、その経験を通して成長できるよう、感染症への配慮を優先して実施していく予定です。ご家庭でも新型コロナウイルス感染症の防止に向けて、体温測定や健康チェックをはじめ、3つの「密」（密閉・密集・密接）を避け、換気・手洗い（手指消毒）・マスクの着用等に引き続き取り組んでいただきますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。

◎ プールについては例年通りとはいきませんが、暑い日も予想されるので30度を超える日は、3密を避けるために、曜日ごとに高学年、低学年に分けて入る予定です。準備よろしくお願ひいたします。